

府中市福祉計画（地域福祉）調査結果の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の福祉全般に関する意見や要望を把握することにより、平成 20 年度に改訂を予定している「府中市福祉計画」の基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査対象・サンプリング

府中市内に居住する 20 歳以上の市民、3,000 人、住民基本台帳から無作為抽出

3 調査方法

アンケート調査（郵送法）

4 調査時期

平成 19 年 10 月 9 日～10 月 26 日

5 回収率

発送・配布数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)	前回調査 回収率
3,000	1,638 (54.6%)	1,638 (54.6%)	1,514/3,000 (50.5%)

6 調査項目

調査項目	ねらい	問番号	設問
A 基本属性	分析の軸となる基本的属性をたずねる	F1	性別
		F2	年齢
		F3	職業
		F4	家族構成(同居家族と人数)
		F5	介助・介護が必要な同居・近居の家族
		F6	居住地
		F7	居住歴
		F8	住宅の所有形態・種類・居住階
B 地域活動・ボランティア	地域活動やボランティア活動の現状と今後の意向、支援策を探る	問1	地域活動の経験(付問:参加している活動の種類、参加しているボランティア活動の分野)
		問2	今後参加したい活動
		問3	子育て家庭・高齢者・障害者に行いたい手助け
		問4	地域活動を行う上で必要な環境・条件
		問5	地域住民の協力関係の必要性 (付問:地域住民の協力関係を築くために必要なこと)
		問6	地域住民による協力を受けることへの希望 (付問:受けたくない理由)
C 相談・情報	日常の悩みや不安から、相談対応や情報提供の今後のあり方を探る	問7	日常生活の悩みや不安
		問8	災害時について不安に思うこと
		問9	地域の相談相手
		問10	相談事業の認知度
		問11	福祉サービスの情報入手方法と今後の希望
D まちと心のバリアフリー	まちの整備などのハード面と、住民同士のつきあいや助け合いなどのソフト面の両面からバリアフリー化の現状と方向性を探る	問12	近所づきあいの現状(付問:つきあいのない理由)
		問13	住民が助け合う「地域」と感じる範囲
		問14	建築物・公共交通機関等・情報のバリアフリー化の状況
		問15	外出先での手助けの経験(付問:手助けしなかった理由)
		問16	心のバリアフリーを進めるために必要なこと
E 満足度	現状への評価として理想像と満足度を探る	問17	理想とする地域像
		問18	地域の暮らしの満足度
F 福祉に対する考え方	地域福祉の諸問題について、認識や考え方を探る	問19	「福祉」に対する考え方
		問20	ソーシャルインクルージョンに関する考え方
G 施策の方向	市民が主体の地域福祉施策を展開するための参考とする	問21	定年退職後の地域活動支援に対する市への要望(*)
		問22	介護保険サービスと保険料についての考え方
		問23	福祉を充実するための住民参加(参画)の方法
		問24	健康管理(介護予防)事業への参加希望
		問25	市が優先的に取り組むべき地域福祉サービス
		問26	ご意見・ご要望

* 問21は40代以上への質問

※網掛けは、調査結果(ポイント)で紹介した質問

7 調査結果（ポイント）

※ 本報告では、調査項目のうち、日ごろの地域活動、自分ができる手助けについて、また、福祉のまちづくりに関する意識と実態に関する項目を抽出し、ご紹介しています。

（1）地域活動の経験（問1）

20歳以上64歳以下の一般市民の地域活動やボランティア活動、地域の行事の参加についてたずねたところ、「まったく参加していない（52.6%）」が多く、「あまり参加していない（22.2%）」、「時々参加している（19.6%）」が続いている。

（上段：実数、下段：%）

件数	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
1636	81	320	364	861	10
100.0	5.0	19.6	22.2	52.6	0.6

（2）近所の子育て家庭・高齢者・障害者等に行いたい手助け（複数回答）（問3）

近所に子育て家庭・高齢者・障害者など困っている家庭があった場合、したい手助けを複数回答でたずねたところ、「安否確認の声かけ（52.9%）」が多く、「災害時の避難の手助け（39.7%）」、「具合がよくないときに、病院等に連絡する（36.0%）」が続いている。

（上段：実数、下段：%）

件数	安否確認の声かけ	ちよつとゴミ出した買物	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時の避難の手助け	具合がよくないときに、病院等に連絡するとき	その他	特にない・わからない	無回答
1636	865	402	81	128	223	478	649	589	27	239	28
100.0	52.9	24.6	5.0	7.8	13.6	29.2	39.7	36.0	1.7	14.6	1.7

(3) 地域の相談相手（複数回答）（問9）

地域で相談したり頼ったりできるところを複数回答でたずねたところ、「行政の相談窓口（25.7%）」、「近所（市内在住）（25.4%）」、「かかりつけ医や保健師など医療関係者（22.9%）」、「近所（市内在住）の親族（20.2%）」が2割台で高い割合である。また、「相談できる相手がいない（22.9%）」人も2割以上に上る。

（上段:実数、下段:%）

件数	自治会の人・近隣住民・町内会・の	親近所（市内在住）の	友人（市内在住）の	民生委員・児童委員	行政の相談窓口	社会福祉協議会	保育所、幼稚園、学校の先生や保護者	ケアマネジャーや福祉施設の関係者	かかりつけ医や保健師など医療関係者	その他	な相談できる相手がいない	無回答
1636	136	330	415	33	420	70	109	140	375	56	374	28
100.0	8.3	20.2	25.4	2.0	25.7	4.3	6.7	8.6	22.9	3.4	22.9	1.7

(4) 建築物・公共交通機関・情報のバリアフリー化の状況（問14）

府中市の福祉のまちづくりに対する評価をたずねたところ、「整備されている」「やや整備されている」の割合が5割を超えた項目は6項目で、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター』でもっとも割合が高くなっている。平均値をみると、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター』、『車いすの方、乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ』、『車椅子やベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス』が上位3位である。

しかし「あまり整備されていない」「整備されていない」等の回答が比較的多い項目もあり、平均値の低いほうから、『補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど』、『手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設』などとなっている。

また、『まち全体のユニバーサルデザイン』に対しても「あまり整備されていない」と「整備されていない」が全体の6割近くであり、平均が3.16である。

（上段:実数、下段:%）

	件数	整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答	平均値
(1) 車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路	1636 100.0	159 9.7	779 47.6	452 27.6	141 8.6	3 0.2	102 6.2	3.62
(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	1636 100.0	321 19.6	895 54.7	259 15.8	58 3.5	3 0.2	100 6.1	3.96
(3) 車いすの方、乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ	1636 100.0	190 11.6	727 44.4	489 29.9	118 7.2	2 0.1	110 6.7	3.65
(4) 歩きやすいように、障害物が取り除かれた歩道や道路	1636 100.0	84 5.1	446 27.3	645 39.4	369 22.6	4 0.2	88 5.4	3.15
(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1636 100.0	148 9.0	695 42.5	518 31.7	160 9.8	4 0.2	111 6.8	3.54
(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1636 100.0	180 11.0	745 45.5	463 28.3	119 7.3	5 0.3	124 7.6	3.65
(7) 障害者用の駐車場	1636 100.0	195 11.9	667 40.8	473 28.9	150 9.2	16 1.0	135 8.3	3.58
(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰かがわかりやすい案内標示	1636 100.0	71 4.3	452 27.6	737 45.0	228 13.9	16 1.0	132 8.1	3.22
(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1636 100.0	23 1.4	211 12.9	784 47.9	385 23.5	30 1.8	203 12.4	2.87
(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1636 100.0	22 1.3	164 10.0	701 42.8	518 31.7	45 2.8	186 11.4	2.72
(11) 公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン	1636 100.0	54 3.3	459 28.1	677 41.4	296 18.1	15 0.9	135 8.3	3.16

(5) 地域の暮らしの満足度 (問 18)

地域の暮らしの10項目について、満足度をたずねたところ、『買い物などの便利さ』や『道路や交通機関などの使いやすさ』については半数前後が「満足」と回答しているが、『隣近所などとのつきあい』から『相談できる体制』までの7項目では「どちらともいえない」が6割を超える結果となっている。

(上段:実数、下段:%)

	件数	満足	どちらでもない	満足していない	無回答
(1) 隣近所などとのつきあい	1636 100.0	436 26.7	1002 61.2	142 8.7	56 3.4
(2) 町内会・自治会の活動	1636 100.0	219 13.4	1180 72.1	175 10.7	62 3.8
(3) 地域の交流	1636 100.0	130 7.9	1251 76.5	187 11.4	68 4.2
(4) サークルやボランティアの活動	1636 100.0	102 6.2	1261 77.1	192 11.7	81 5.0
(5) 地域の防災対策	1636 100.0	164 10.0	1099 67.2	300 18.3	73 4.5
(6) 保健福祉サービス	1636 100.0	187 11.4	1169 71.5	204 12.5	76 4.6
(7) 相談できる体制	1636 100.0	134 8.2	1104 67.5	314 19.2	84 5.1
(8) 買い物などの便利さ	1636 100.0	819 50.1	427 26.1	331 20.2	59 3.6
(9) 道路や交通機関などの使いやすさ	1636 100.0	759 46.4	503 30.7	317 19.4	57 3.5
(10) 公的な手続きの便利さ	1636 100.0	428 26.2	822 50.2	327 20.0	59 3.6

(6) ソーシャルインクルージョンに関する考え方 (問 20)

ソーシャルインクルージョンに関連する7つの項目について、その考え方をたずねたところ、『障害のある人とない人がともに生きるのが当然の姿』では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が8割を超え、『児童や高齢者虐待を防ぐため地域のつながりが重要』、『DV被害を防ぎ、被害者支援のため地域のつながりが重要』、『ひとり親家庭の自立を支援するため地域でのつながりが重要』の3項目についても「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が6割を超えている。

『生活保護』や『ホームレス』についての項目では「どちらともいえない」が3割前後で回答も分かれる結果となっている。

◎ソーシャルインクルージョン

家庭内暴力や高齢者虐待、児童虐待などで社会から排除されている人々への対応策として、教育や仕事の開発を通して、地域社会の仲間に入れていくこと。

「ソーシャルインクルージョンと社会起業の役割」(炭谷茂他著)ぎょうせいより

(上段:実数、下段:%)

	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない	無回答
(1) 障害のある人となない人が、地域社会の中でともに生きるのが当然の姿である	1636 100.0	930 56.8	455 27.8	120 7.3	23 1.4	5 0.3	103 6.3
(2) ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	1636 100.0	313 19.1	417 25.5	449 27.4	258 15.8	96 5.9	103 6.3
(3) 生活保護受給者に対する偏見や差別があると感じる	1636 100.0	170 10.4	362 22.1	569 34.8	346 21.1	80 4.9	109 6.7
(4) ひきこもりやニートは、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	1636 100.0	219 13.4	361 22.1	471 28.8	330 20.2	152 9.3	103 6.3
(5) 児童や高齢者の虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	1636 100.0	690 42.2	600 36.7	200 12.2	37 2.3	6 0.4	103 6.3
(6) DV被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	1636 100.0	440 26.9	611 37.3	373 22.8	82 5.0	24 1.5	106 6.5
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	1636 100.0	402 24.6	651 39.8	383 23.4	83 5.1	13 0.8	104 6.4

(7) 定年退職後の地域活動支援に対する市への要望（複数回答）（問 21）

40歳以上の方に、市に対する定年退職後の地域活動支援について、複数回答でたずねたところ、「地域住民と協働できる機会の提供」が多く、「生涯学習活動の支援」、「子どもの安全や子育てに貢献できる活動への支援」が続いている。

(上段:実数、下段:%)

件数	子どもへの支援や子育て	地域住民と協働できる機会の提供	ヘルパー等高齢者の支援	都市部を離れる方への支援	これまで経験のない職業の立ち上げ	生涯学習活動への支援	その他	特になし	無回答
942 100.0	288 30.6	360 38.2	272 28.9	52 5.5	203 21.5	333 35.4	10 1.1	100 10.6	84 8.9

(8) 市が優先的に取り組むべき地域福祉の施策（複数回答）（問 25）

一般市民にこれからの府中市の「利用者本位の福祉」を実現するために取り組むべき施策を複数回答でたずねたところ、「福祉サービスに関する情報提供を充実すること（51.7%）」が多く、「的確な相談が受けられるようにすること（48.0%）」、「退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やすこと（39.7%）」が続いている。

(上段:実数、下段:%)

件数	福祉サービスに関する情報提供を充実	退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やすこと	ボランティアの育成	的確な相談を受けられるようにすること	苦情に対する適切な対応	サービス改善の取り組み	行政や公共サービスの進め方	市民が法律や制度に詳しいこと	利用者の権利を保護すること	その他	わからない	無回答
1636 100.0	845 51.7	650 39.7	273 16.7	786 48.0	313 19.1	378 23.1	353 21.6	279 17.1	150 9.2	20 1.2	46 2.8	35 2.1

8 調査結果（調査票記載）

はじめに、あなたご自身のことをおたずねします

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。（1つに〇）

(N=1,636)

1. 男性 45.7% 2. 女性 51.1% 無回答 3.2%

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。（1つに〇）

*平成19年9月30日現在の年齢でお答えください。

(N=1,636)

1. 20～24歳	5.1%	6. 45～49歳	10.0%	11. 70～74歳	0.1%
2. 25～29歳	8.1%	7. 50～54歳	9.4%	12. 75～79歳	0.2%
3. 30～34歳	11.7%	8. 55～59歳	11.5%	13. 80～84歳	0.3%
4. 35～39歳	15.5%	9. 60～64歳	11.2%	14. 85～89歳	0.1%
5. 40～44歳	14.3%	10. 65～69歳	0.2%	15. 90歳以上	0.2%
				無回答	2.0%

F 3 あなたのご職業は次のうちどれですか。（1つに〇）

(N=1,636)

1. 自営業・自由業	7.9%	5. パート・内職などの仕事	14.5%
2. 企業の社員・役員（従業員50人未満）	11.2%	6. 専業主婦（夫）	16.4%
3. 企業の社員・役員（従業員50人以上）	27.6%	7. 無職	5.5%
4. 公務員	5.4%	8. その他〔具体的に： 〕	9.2%
		無回答	2.3%

F 4 世帯についておたずねします。

あなたと同居*している方はどなたですか。（いくつでも〇）

*2世帯住宅は同居としてお答えください。

*配偶者の親族を含めてお答えください。

(N=1,636)

1. ひとり暮らし（自分のみ）	11.4%	5. 祖父、祖母	2.1%
2. 配偶者（夫または妻）	65.3%	6. 兄弟・姉妹	7.8%
3. 息子、娘（息子の妻、娘の夫も含む）	49.1%	7. その他〔具体的に： 〕	4.0%
4. 父、母	21.3%	無回答	1.9%

F 4-1 F 4で「2. 配偶者（夫または妻）」～「7. その他」と答えた方におたずねします。世帯の人数はあなたを含めて何人ですか。（1つに〇）

(n=1,418)

1. 2人	24.1%	4. 5人	8.8%
2. 3人	25.1%	5. 6人以上	6.0%
3. 4人	26.5%	無回答	9.4%

F 5 現在、あなた自身、もしくは同居や市内にお住まいの家族の中に、次のような方はいますか。(いくつでも○)

(N=1,636)

1. 乳児(1歳未満)	4.3%	5. 65歳以上の方	24.7%
2. 乳児を除く小学校入学前の幼児	18.9%	6. 身体・知的・精神などの障害のある方	7.2%
3. 小学生	17.4%	7. 介護・介助を必要とする方	6.5%
4. 中学生・高校生	13.1%	8. いずれもない	37.5%
		無回答	3.9%

F 6 あなたはどちらにお住まいですか。 内に記入してください。

町 丁目

(N=1,636)

第一地区	20.5%	第三地区	16.0%	第五地区	11.4%	無回答	2.2%
第二地区	19.8%	第四地区	11.6%	第六地区	18.5%		

第一地区：多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台(1～3丁目)、若松町、浅間町、緑町
 第二地区：白糸台(4～6丁目)、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
 第三地区：天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
 第四地区：宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、片町、宮西町
 第五地区：日綱町、武蔵台、北山町、西原町、美好町(1～2丁目)、本宿町(3～4丁目)、西府町(3～4丁目)、東芝町
 第六地区：美好町(3丁目)、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町(1～2丁目)、西府町(1～2、5丁目)

F 7 あなたは府中市にお住まいになってから何年になりますか。(1つに○)

(N=1,636)

1. 1年未満	4.8%	5. 10年以上 20年未満	17.6%
2. 1年以上 3年未満	10.9%	6. 20年以上 30年未満	18.1%
3. 3年以上 5年未満	8.1%	7. 30年以上	25.7%
4. 5年以上 10年未満	13.9%	無回答	0.9%

F 8 あなたのお住まいについて、次の(ア)～(ウ)についておたずねします。

(ア) お住まいの所有は次のうちどれですか。(1つに○)

(N=1,636)

1. 持ち家	61.2%
2. 民間賃貸住宅	27.0%
3. 公的賃貸住宅	7.0%
4. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕	4.0%
無回答	0.7%

(イ) お住まいの形態は次のうちどれですか。(1つに○)

(N=1,636)

1. 集合住宅(エレベーターなし)	24.6%
2. 集合住宅(エレベーターあり)	30.9%
3. 戸建て住宅・2階建てタウンハウス	42.1%
4. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕	1.6%
無回答	0.8%

(ウ) (イ)で「1. 集合住宅(エレベーターなし)」と答えた方におたずねします。
お住まいは何階ですか。(1つに○)

(n=403)

1. 1階	27.3%	4. 4階	6.5%
2. 2階	45.7%	5. 5階以上	3.0%
3. 3階	16.4%	無回答	1.2%

日ごろの地域活動*やボランティア活動*についておたずねします

問1 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに〇)

(N=1,636)

1. よく参加している	5.0%	3. あまり参加していない	22.2%
2. 時々参加している	19.6%	4. まったく参加していない	52.6%
		無回答	0.6%

問 1-1 問1で「1. よく参加している」または「2. 時々参加している」と答えられた方におたずねします。

どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも〇)

(n=401)

1. 町内会・自治会などの活動	56.9%
2. 子ども会やPTAの活動	28.2%
3. 老人クラブの活動	3.0%
4. 婦人会の活動	1.7%
5. 地域でのボランティア活動	24.4%
6. 防災訓練や交通安全運動	17.7%
7. お祭りや運動会などのレクリエーション活動	49.4%
8. その他〔具体的に：	12.0%
無回答	0.2%

問1-2 問1-1で「5. 地域でのボランティア活動」と答えた方におたずねします。

参加しているボランティア活動の分野は何ですか。(いくつでも〇)

(n=98)

1. 高齢者に関する分野	15.3%
2. 障害のある人に関する分野	20.4%
3. 子育てに関する分野	21.4%
4. 保健に関する分野	4.1%
5. 環境美化に関する分野	40.8%
6. まちづくりに関する分野	18.4%
7. 防犯、防災や交通安全の分野	24.5%
8. 国際交流に関する分野	6.1%
9. 人権・男女共同参画に関する分野	1.0%
10. その他〔具体的に：	10.2%
無回答	0.0%

地域活動

地域の社会的諸問題の解決や福祉向上のために、住民が主体となって地域を拠点として行われる活動。

ボランティア活動

自発的に、他者や社会のために行い、金銭的な利益を第一に求めない活動。また、誰もが暮らしやすい豊かな社会をめざして、人や団体とつながり、社会の課題の解決に取り組む活動。「自発性・主体性」「社会性・連帯性」「無給性・無償性」「創造性・先駆性・開拓性」がボランティアの4原則といわれる。

問2 あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

(N=1,636)

1. 自分の楽しみが得られる活動	38.7%	7. 隣近所の人と協力しあえる活動	23.1%
2. 興味ある知識や教養が得られる活動	41.9%	8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	13.0%
3. 自分の知識や経験をいかせる活動	25.5%	9. 地域や社会に役立つ活動	32.0%
4. 生きがいや健康づくりができる活動	30.1%	10. 行政への協力や地域自治に関わる活動	6.5%
5. 余暇時間を充実させる活動	20.0%	11. その他〔具体的に：	〕 1.0%
6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動	29.1%	12. 特にない	11.1%
		無回答	1.9%

問3 近所に、高齢者や障害のある方の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けをしたいと思いますか。(いくつでも○)

(N=1,636)

1. 安否確認の声かけ	52.9%
2. ちょっとした買い物やゴミ出し	24.6%
3. 食事や掃除・洗濯の手伝い	5.0%
4. 通院の送迎や外出の手助け	7.8%
5. 子どもの預かり	13.6%
6. 話し相手や相談相手	29.2%
7. 災害時の避難の手助け	39.7%
8. 具合がよくないときに、病院等に連絡する	36.0%
9. その他〔具体的に：	〕 1.7%
10. 特にない・わからない	14.6%
無回答	1.7%

問4 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思えますか。(3つまで○)

(N=1,636)

1. 身近なところや便利なところに活動の場があること	56.7%
2. 夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること	55.0%
3. 子どもの世話や介護・介助を代わってもらえること	9.2%
4. 友人や家族と一緒に参加できること	20.2%
5. 家族や職場の理解・協力が得られること	22.2%
6. 自分の所属する学校や職場で活動が行われていること	5.5%
7. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	21.9%
8. 活動資金の補助・援助があること	11.0%
9. 活動に参加することでメリットが得られること(報酬など)	7.7%
10. その他〔具体的に：	〕 1.4%
11. 条件によらず参加したくない	5.6%
無回答	2.4%

問5 あなたは、地域で安心して生活していくために、住民相互の協力関係が必要だと思えますか。(1つに〇)

(N=1,636)

1. 必要だと思う	38.8%
2. ある程度必要だと思う	52.3%
3. あまり必要だとは思わない	3.1%
4. 必要だとは思わない	0.9%
5. わからない	3.6%
無回答	1.4%

問5-1 問5で「1. 必要だと思う」または「2. ある程度必要だと思う」と答えられた方におたずねします。住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思えますか。(3つまで〇)

(n=1,489)

1. 自ら進んで日ごろから住民相互のつながりをもつように心がけること	39.5%
2. 町内会・自治会が中心となって交流活動を進めること	32.0%
3. ボランティア団体やNPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること	7.9%
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること	42.5%
5. 地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること	9.3%
6. 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること	38.2%
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること	13.8%
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをすること	14.8%
9. その他〔具体的に：	〕2.2%
10. わからない	5.7%
無回答	0.7%

問6 高齢者や障害のある方の介助・介護、子育てなどで困りごとがあった場合、あなたは、地域住民の方による協力を受けたいと思えますか。(1つに〇)

(N=1,636)

1. 受けたい	18.3%
2. どちらかといえば受けたい	25.7%
3. どちらともいえない	39.7%
4. どちらかといえば受けたくない	10.6%
5. 受けたくない	3.9%
無回答	1.8%

問6-1 問6で「4. どちらかといえば受けたくない」または「5. 受けたくない」と答えた方におたずねします。

あなたが受けたくないと思う理由は何ですか。(いくつでも〇)

(n=237)

1. プライバシーが守られるかどうか不安だから	56.1%
2. 地域の人に気をつかうことが嫌だから	61.2%
3. 他人の世話にはなりたくないから	30.4%
4. 必要性を感じないから	16.0%
5. その他〔具体的に：	〕10.1%
無回答	0.0%

日頃のお悩みと相談についておたずねします

問7 あなた、あるいはご家族は現在、日常生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで〇)

(N=1,636)

1. 自分や家族の健康のこと	44.9%	8. 住宅のこと	13.4%
2. 自分や家族の老後のこと	39.5%	9. 地域の治安のこと	16.9%
3. 生きがいに関すること	8.1%	10. 災害時の備えに関すること	21.8%
4. 子育てに関すること	13.4%	11. 差別や偏見、人権侵害に関すること	1.5%
5. 介護の問題	12.0%	12. その他〔具体的に： 〕	1.3%
6. 経済的な問題	27.8%	13. 特にない	11.1%
7. 隣近所との関係	5.4%	無回答	1.3%

問8 災害時を想定した場合、あなたご自身やご家族について、どのような点に不安を感じますか。(3つまで〇)

(N=1,636)

1. 所在、安否の確認	69.3%
2. 救助、避難誘導	14.9%
3. 避難経路、避難方法	13.6%
4. 避難生活	52.7%
5. 正確な情報の入手	32.0%
6. 生活物資、乳幼児・高齢者等向けの物資	23.0%
7. 医療機関、診療、薬の入手	22.5%
8. 精神的なストレス	21.2%
9. 家屋の強度や家具の転倒防止	16.9%
10. その他〔具体的に： 〕	1.3%
無回答	0.9%

問9 あなたやご家族が、介助・介護など福祉に関することや病気で困ったときに、地域で相談したり頼ったりできる場所はありますか。(いくつでも〇)

(N=1,636)

1. 近隣住民・町内会・自治会の人	8.3%	7. 保育所、幼稚園、学校の先生や保護者	6.7%
2. 近所(市内在住)の親族	20.2%	8. ケアマネージャーや福祉施設の関係者	8.6%
3. 近所(市内在住)の友人	25.4%	9. かかりつけ医や保健師など医療関係者	22.9%
4. 民生委員・児童委員	2.0%	10. その他〔具体的に： 〕	3.4%
5. 行政の相談窓口*	25.7%	11. 相談できる相手がいない	22.9%
6. 社会福祉協議会	4.3%	無回答	1.7%

* 行政の相談窓口は、市役所、保健センター、女性センター、児童相談所、保健所等の窓口を示します。

問10 市や都などには、福祉についての相談窓口が設置されています。次の相談事業についてご存知ですか。(いくつでも○)

(N=1,636)

1. 市役所の相談窓口	67.5%	11. 地域生活支援センター「み～な」「あけぼの」「プラザ」	6.4%
2. 民生委員・児童委員	33.1%	12. 子ども家庭支援センター「たち」「しらとり」	27.2%
3. オンブズパーソン制度	7.9%	13. スクエア21・女性センター	27.1%
4. 地域包括支援センター	6.2%	14. 社会福祉協議会(ふれあい福祉相談室など)	18.8%
5. 在宅介護支援センター	24.9%	15. 府中ボランティアセンター、 府中NPO・ボランティア活動センター	13.1%
6. 権利擁護センターふちゅう	3.1%	16. 人材育成センター	6.4%
7. 心身障害者福祉センター	20.9%	17. 消費生活相談室	18.3%
8. 発達支援センター「あゆの子」	4.0%	18. 知っているものはない	13.2%
9. 児童相談所	28.4%	無回答	1.5%
10. 保健センター	39.6%		

問11 保育や子育て支援、高齢者や障害のある方への福祉サービス、健康づくり、ボランティア活動など、市の福祉に関する情報についておたずねします。

(ア) 日ごろの情報の入手先はどこですか。(3つまで○)

(N=1,636)

1. 家族や親族	22.2%	8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士など	2.8%
2. 近隣の人、友人、知人	22.1%	9. NPO等の民間団体	0.7%
3. 町内の回覧板	24.6%	10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	20.5%
4. 広報ふちゅうや市のパンフレット	63.9%	11. インターネット(市のホームページ以外)	10.0%
5. 市のホームページ	15.6%	12. その他〔具体的に： 〕	1.7%
6. 行政の相談窓口	3.8%	13. 情報を得たことはない	11.0%
7. 社会福祉協議会	1.6%	無回答	1.2%

(イ) 今後、希望する情報の入手先はどこですか。(3つまで○)

(N=1,636)

1. 家族や親族	10.7%	8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士など	4.5%
2. 近隣の人、友人、知人	12.0%	9. NPO等の民間団体	1.5%
3. 町内の回覧板	25.0%	10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	25.6%
4. 広報ふちゅうや市のパンフレット	59.2%	11. インターネット(市のホームページ以外)	17.8%
5. 市のホームページ	35.3%	12. その他〔具体的に： 〕	2.4%
6. 行政の相談窓口	13.5%	13. 情報を得たことはない	3.4%
7. 社会福祉協議会	2.4%	無回答	2.4%

問14 現在、府中市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者等が利用しやすいように整備されていると思いますか。(1)～(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,636)

		整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答
建築物	(1)車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	9.7%	47.6%	27.6%	8.6%	0.2%	6.2%
	(2)公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	19.6%	54.7%	15.8%	3.5%	0.2%	6.1%
	(3)車いすの方、乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ	11.6%	44.4%	29.9%	7.2%	0.1%	6.7%
道路・交通機関等	(4)歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれた歩道や道路	5.1%	27.3%	39.4%	22.6%	0.2%	5.4%
	(5)点字ブロックや視覚障害者用の信号機	9.0%	42.5%	31.7%	9.8%	0.2%	6.8%
	(6)車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	11.0%	45.5%	28.3%	7.3%	0.3%	7.6%
	(7)障害者用の駐車場	11.9%	40.8%	28.9%	9.2%	1.0%	8.3%
情報案内など	(8)大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	4.3%	27.6%	45.0%	13.9%	1.0%	8.1%
	(9)手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1.4%	12.9%	47.9%	23.5%	1.8%	12.4%
	(10)補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.3%	10.0%	42.8%	31.7%	2.8%	11.4%
全体	(11) (1)～(10)や公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン*	3.3%	28.1%	41.4%	18.1%	0.9%	8.3%

ユニバーサルデザイン

道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、だれでもが使えるものを作るという考え方

問15 あなたは、街や近所で、障害のある人や高齢者、妊婦、乳幼児を連れた方などに、次のようなお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも○)

(N=1,636)

1. 乗り物で席を譲った	82.2%
2. 荷物を持った	17.9%
3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した	26.6%
4. 車いすやベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った	27.9%
5. 道を教えた	42.8%
6. 扉を開けた	54.4%
7. 話しかけたり、声をかけたりした	17.9%
8. 車で送り迎えをするなど、外出の手助けをした	3.4%
9. その他〔具体的に：	〕 1.2%
10. 何もしたことがない	5.2%
無回答	2.8%

問 15-1 問 15 で「10. 何もしたことがない」と答えた方におたずねします。
何もしたことがない理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=85)

1. 忙しく、急いでいたから	7.1%
2. 手伝いをするに、気恥ずかしさを感じたから	10.6%
3. おせっかいのような気がしたから	18.8%
4. どのように手助けしてよいか、わからなかったから	12.9%
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	3.5%
6. 困っているのを見かけたり、出会ったりしたことがなかったから	63.5%
7. その他〔具体的に：	〕 7.1%
無回答	0.0%

問16 人にやさしいまちづくりをすすめるためには、高齢者や障害者の方々が利用しやすい建物等の整備をすすめるだけでなく、市民一人ひとりの理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー*」を実現していくことが課題となっています。そのためにどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

(N=1,636)

1. 広報紙、テレビ等を通じて、多くの人が多様な情報にふれる機会が増えること	48.0%
2. 学校で障害者とともに学習すること等により、子どもたちから自然に接する環境で過ごすこと	62.6%
3. 地域の行事等により、市民が障害者と直接交流する機会が増えること	30.8%
4. 障害者等へのボランティア活動に多くの人に参加するようになること	17.1%
5. 学校で、車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚える授業が活発に行われるようになること	43.2%
6. 職場で、車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚える研修が活発に行われるようになること	19.9%
7. その他〔具体的に：	〕 2.9%
無回答	4.4%

バリアフリー 障害のある人が社会生活をしていくうえで妨げとなる障壁を除去するという意味で、建物や道路などの段差など、生活環境上の物理的障壁の除去のこと。
「心のバリアフリー」といった表現で、より広く社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的な全ての障壁の除去という意味でも用いる。

府中市の福祉についての満足度をおたずねします

問17 あなたにとって、理想とする地域像はどのようなものですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(3つまで〇)

(N=1,636)

1. 子どもがいきいきと育つまち	64.4%
2. 高齢者が暮らしやすいまち	52.1%
3. 障害のある方が暮らしやすいまち	26.3%
4. 困ったときに隣近所で助け合えるまち	36.4%
5. 福祉施設が整備されているまち	35.9%
6. 市民の福祉活動が活発に行われているまち	16.9%
7. 人権が尊重されるまち	22.1%
8. その他〔具体的に： 無回答	2.1% 3.5%

問18 あなたが現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ〇をつけてください。

(N=1,636)

	満足	どちらでもない	満足していない	無回答
(1) 隣近所などとのつきあい	26.7%	61.2%	8.7%	3.4%
(2) 町内会・自治会の活動	13.4%	72.1%	10.7%	3.8%
(3) 地域の交流	7.9%	76.5%	11.4%	4.2%
(4) サークルやボランティアの活動	6.2%	77.1%	11.7%	5.0%
(5) 地域の防災対策	10.0%	67.2%	18.3%	4.5%
(6) 保健福祉サービス	11.4%	71.5%	12.5%	4.6%
(7) 相談できる体制	8.2%	67.5%	19.2%	5.1%
(8) 買い物などの便利さ	50.1%	26.1%	20.2%	3.6%
(9) 道路や交通機関などの使いやすさ	46.4%	30.7%	19.4%	3.5%
(10) 公的な手続きの便利さ	26.2%	50.2%	20.0%	3.6%

福祉に対する考え方についておたずねします

問19 あなたは「福祉」について、どのようなイメージをお持ちですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つに〇)

(N=1,636)

1. 所得が少ないなどの事情から生活することが困難な人を国、都、あるいは市が救済すること 10.9%
2. 高齢者、障害者、児童などのために、国、都、あるいは市が必要な施設を整備して支援すること 41.6%
3. 日常生活を過ごすのに、困っている人がいたら、みんなの善意で助けること 7.2%
4. 誰もが利用する可能性がある、市民の生活の質の向上をめざした社会サービスのこと 21.5%
5. 利用者本人が主体的に選択・決定するサービスによって、自立を支援すること 8.7%
6. わからない 2.8%
7. その他〔具体的に： 〕0.8%
無回答 6.6%

問20 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。(1)～(7)のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものに1つずつ〇をつけてください。

(N=1,636)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない	無回答
(1) 障害のある人とない人が、地域社会の中でともに生きるのが当然の姿である	56.8%	27.8%	7.3%	1.4%	0.3%	6.3%
(2) ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	19.1%	25.5%	27.4%	15.8%	5.9%	6.3%
(3) 生活保護受給者に対する偏見や差別があると感じる	10.4%	22.1%	34.8%	21.1%	4.9%	6.7%
(4) ひきこもりやニートは、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	13.4%	22.1%	28.8%	20.2%	9.3%	6.3%
(5) 児童や高齢者の虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	42.2%	36.7%	12.2%	2.3%	0.4%	6.3%
(6) DV*被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	26.9%	37.3%	22.8%	5.0%	1.5%	6.5%
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	24.6%	39.8%	23.4%	5.1%	0.8%	6.4%

DV (ドメスティック・バイオレンス)

夫や恋人など親密な関係にある(またはあった)男性から女性に対して振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力などあらゆる暴力が含まれる。

福祉施策についておたずねします

40歳以上の方におたずねします（40歳未満の方は問22にお進みください）

問21 あなたは、高齢期に向けて（定年退職等で仕事をやめたときなど）どのような地域活動支援を市に望みますか。（3つまで○）

(n=942)

1. 子どもの安全や子育てに貢献できる活動への支援	30.6%
2. 地域住民と協働できる機会の提供	38.2%
3. ヘルパー等高齢者の援助を行う活動への支援	28.9%
4. 都会を離れ地方へ移住する際のアドバイス	5.5%
5. これまでの仕事上の経験をいかした新規事業の立ち上げへの支援	21.5%
6. 生涯学習活動への支援	35.4%
7. その他〔具体的に：	〕 1.1%
8. 特にない	10.6%
無回答	8.9%

全員におたずねします

問22 高齢者サービスに介護保険が導入されて7年になり、介護保険サービスの利用が普及してきました。今後の介護保険サービスと保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。（1つに○）

*40歳未満の方もお答えください。

(N=1,636)

1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい	23.2%
2. 保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である	24.5%
3. 介護保険サービスを抑えても保険料が低い方がよい	11.2%
4. どちらともいえない	33.8%
無回答	7.3%

問23 地域の福祉が充実するためには行政サービスだけでなく、住民の参加(参画)が必要だという考えがあります。あなたは住民参加(参画)の方法としてどのようなことが必要だと思いますか。（1つに○）

(N=1,636)

1. 町内会・自治会や子ども会など地域単位の組織活動を活発にし、地域住民同士が横の つながりを保つこと	37.3%
2. 行政と住民の意見交換の機会を設けること	22.1%
3. より多くの住民がボランティア活動に参加すること	8.3%
4. 講習会などによる地域づくりへの意識啓発などを進めること	8.6%
5. その他〔具体的に：	〕 1.3%
6. 住民参加(参画)の必要はない	2.0%
7. わからない	13.9%
無回答	6.4%

問24 市では、健康管理や介護予防のためにさまざまな事業を行っています。将来に向けて、どのような健康づくりの事業に参加してみたいと思いますか。（3つまで○）

(N=1,636)

1. 交流（趣味、レクリエーションなど）	44.9%
2. 骨折予防などの寝たきり予防生活機能の維持・向上	14.5%
3. 運動・スポーツ活動	50.5%
4. 筋力トレーニング	18.5%
5. 生活習慣病の予防	37.7%
6. 認知症の予防、ケア	25.7%
7. 歯科・口腔ケア	13.0%
8. 栄養や食事の指導	22.2%
9. その他〔具体的に：	〕 0.9%
10. 特にない	6.9%
無回答	1.8%

問25 「利用者本位の福祉」を実現するために、府中市ではどのような施策に優先して取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。（3つまで○）

(N=1,636)

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実すること	51.7%
2. 団塊世代など退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やすこと	39.7%
3. ボランティアの育成や活動への支援を充実すること	16.7%
4. 的確な相談が受けられるようにすること	48.0%
5. 苦情に対して、適切な対応ができるようにすること	19.1%
6. サービスの内容を評価し、改善する仕組みを充実すること	23.1%
7. 行政やサービス事業者の情報公開を進めること	21.6%
8. 市民が、福祉に関わる法律や制度について、学習できる機会や場を提供すること	17.1%
9. 利用者の権利を保護する仕組みをつくること	9.2%
10. その他〔具体的に：	〕 1.2%
11. わからない	2.8%
無回答	2.1%

問26 最後に、府中市の福祉やまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——